

関東同窓会新年会の報告

上原 昇（2組）

大寒間近にも拘わらず暖かい1月17日（土）の午後、恒例の関東同窓会新年会が開催され、出席してきました。会場は、いつもの日本教育会館・喜山俱楽部（千代田区一ツ橋）です。当日は55期から111期までの同窓生が各地から75名集まり新年を祝いました。同期の出席は筆者のほかに丸山暢久君（4組）と谷内俊郎君（5組）の3名。

今年のアトラクションは若林俊介さん（110期）と奥様の原日向子さんによるトランペット・ハープコンサートです。

若林さんは上田三中出身、高校時代は吹奏楽班でトランペットを担当、高校卒業後は武蔵野音大、洗足学園音楽大学院を経て、現在は陸上自衛隊中央音楽隊に所属して演奏活動しています。

上田高校吹奏楽班OB/OGの「松奏会」幹事のKさんの解説によると、陸上自衛隊中央音楽隊は国賓等に対する「特別儀仗演奏」

の任務をつかさどる唯一の音楽隊で、年間200回近い演奏を行っているとのことです。

札幌市出身の奥様とは武蔵野音大卒の同級生とのことで、夫婦で息の合った演奏を披露してくれました。トランペットとハープだけの演奏は珍しいそうですが、力強く勇ましいトランペットと優雅なハープの音色が絶妙なコラボとなり、新年に相応しいコンサートになりました。

約1時間、8曲ほどの演奏でしたが、よく耳にしたことのある映画『ゴッドファーザー』の主題歌「愛のテーマ」などには拍手喝采で大いに盛り上りました。



続いて、場所を移しての懇親会は後期高齢の67期以前の期は着座で、68期以降は立食という年齢に配慮された形で行われましたが、複雑な思いをしたのは私だけだったでしょうか。楽しく話し、飲み、食べて2時間、最後は6月27日（土）に予定されている今年の関東同窓会総会の実行委員長期・78期の皆さん登壇して、総会にかける意気込みを語り、実行委員長・渡辺博さん（78期）の一本締めでお開きとなりました。

新年会の2時間前に開催された幹事会（丸山暢久君と筆者が出席）では、今年の第65回総会のアトラクションと懇親会は新企画を考えているということで、概要の報告がありました。

詳細については5月末に発行・配布される会報で紹介されますので、お楽しみにとのこと。
同期諸氏も、今からスケジュールに予定していただくと有難いです。



若林俊介&原日向子トランペット・ハープコンサートの開始



演奏会の様子
何れの写真も中村和久編集長提供

(2026年1月18日記)

以上